

令和8年度 品川区立小山小学校経営方針

品川区立小山小学校

校長 森田 佳之

I 学校経営の理念

持続可能な開発目標であるSDGsには、2030年までに達成したい17の目標が示されています。しかし、子どもたちが活躍する理想の未来像と現在の社会状況には大きなギャップがあり、多くの課題に直面しています。今後、社会状況の急激な変化や人々の価値観が変化していく中であって、次世代を担う子どもたちには、現状を理解して分析し、課題を見出し力、新しい取組に挑戦し実行していく力が求められています。課題を排除し未来を切り拓くには、好奇心や協調性等の学びに向かう力を育てていく必要があります。また、話し合うことを通して多様性を受け止めたり、相互理解を深めたりして、共に生きていこうとする資質を身に付けることも必要です。

義務教育9年間のうち小学校6年間では、学習と生活で良い習慣を身に付けていくことを大切にしています。学習では、「読み・書き・計算」等の基礎基本の定着を図るとともに、家庭での自学自習を支援し、学習習慣をつくっていきます。学ぶことの価値を実感したり学びの中に楽しさを発見したりすることは、自ら学び成長していくことにつながっていくと考えます。また、自らの理解度に応じた個別最適な学びとともに、友達とともに問題解決的な学習を進めていく協働的な学びを通して、組織で課題解決をしていくチーム力を身に付けた児童を育成していきます。生活では、日常の挨拶や時間を守る等の基本的な生活習慣の徹底、きまりを守る等の規範意識の醸成と対人コミュニケーション能力の育成等、多様な人と関係を築いていけるダイバーシティの考えを身に付けさせていきます。

また、品川コミュニティ・スクール（荏原第六中学校、第二延山小学校）の連携を図ります。

II 教育目標

(1) 一貫教育目標

品川区立荏原第六中学校と小中9年間を見通した、一貫教育目標を設定しています。

自立した精神をもち、助け合って生きる

適応力のある児童・生徒を育てる

(2) 児童目標

○ 進んで学習する子 【知】

○ 協力し助け合う子 【徳】

○ 心身ともにたくましい子 【体】



品川区立小山小学校では、6年間で育てていく姿として、児童目標を設定しています。

Ⅲ 指導の重点

知・徳・体のバランスのとれた教育を進めていきます。

○学力をつける学校

- (1) 基礎学力の確実な定着をめざします
- (2) 意欲を高め、思考力・判断力・表現力を身に付けさせます

○社会性・人間性を育てる学校

- (1) 礼儀正しく、きまりやマナーを守る子を育てます
- (2) 周りの様子を考え、自分も他人も大切にすることを育てます

○たくましい心と体をつくる学校

- (1) 運動に関心をもち、生涯にわたって運動に親しむ子を育てます
- (2) 心身の健康に関心をもち、健康や安全に関する意識を高めます

○学力をつける学校

(1) 基礎学力を身に付けさせます

読み、書き、計算などの基礎的な力は、社会生活を送る上で必要不可欠な学力です。小山小学校の子どもたちの学力テストの結果を見ると、おおむね定着しています。授業だけでなく補習、家庭学習の取組などにより、さらに基礎学力を確実に身に付けていきます。

(2) 意欲を高め、思考力・判断力・表現力を育てます

これからの子どもたちには、将来起こりうる、想定外のいろいろな問題に正面から向き合い、解決していく力が必要です。「もっと知りたい」「もっと調べたい」「もっと上手になりたい」という意欲をもって学習に取り組むことが重要です。また、子どもたちが自分の考えや意見を自分の言葉で実際に書いたり話したりすることで、思考力・判断力・表現力は身に付きます。国語科を中心に、ICT機器の活用だけでなく、ICT機器に頼らない活動にも取り組みます

○社会性・人間性を育てる学校

(1) 礼儀正しく、きまりやマナーを守る子を育てます

市民科を中心に日常の学校生活を通して、繰り返し指導し習慣化を図ります。また、縦割り活動やさまざまな交流活動を通して、互いを認め合い信頼し合う心をはぐくみます。

(2) 周りの様子を考え、自分も他人も大切にすることを育てます

「いじめは絶対に許さない」という基本姿勢を貫き、教職員が一丸となっていじめの早期発見、早期対応に取り組むとともに、「自分も、他人も大切にすること」意識づくりを進めていきます。

○たくましい心と体をつくる学校

(1) 運動に関心をもち、生涯にわたって運動に親しむ子を育てます

体育科授業をはじめとして、25分間の中休み、体育集会等を活用して、体を動かすことの心地よさや生涯にわたってスポーツに親しむ基盤をはぐくみます。

(2) 心身の健康に関心をもち、健康や安全に関する意識を高めます

食育や健康教育を推進し、食に対する正しい知識と望ましい食習慣や学校医による保健指導の実施により健康づくりの基盤をはぐくみます。また、体育科（保健）や市民科などの授業や普段の学校生活の場面を使って、健康や安全に関する学びを深め、「自分の身は自分で守る」「危険を予測し回避する」力を育てます